

キャリア・アドバイザー通信

本号のキャリア・アドバイザー通信では、文系3年生の就職希望者を対象に、これからするべき就職活動の準備について説明させていただきます。

学生全員・民間企業希望者にむけて

注意その1
「決められない」では「決まらぬ」先延ばしは危険信号！
3年11月までに意思決定する覚悟を！

はじめから卒業したら就職...と漠然と考えていても、いざ目の前になって考えると、大学院進学、公務員・教員、海外留学など、将来が決まる進路をひとつにしようことに躊躇して意思決定を先送りしている人を見受けられます。しかし、先送りするということは、準備・対策も先送りになり、就職活動の開始時期に間に合わないということにもなりかねません。あせって決める必要はないと言いたいところですが、日本の新卒一括採用では、採用時期を逃すと追加募集があるとは限らず、希望する企業の試験を受けるチャンスすらないという結果になります。秋採用を考えると学生もいますが、秋の定期採用をしている企業は、大手新聞社などのごくわずかの限られた企業です。今年も、一部の大手企業で例年にはない追加募集がありました。一般的には中堅・中小企業を中心とした欠員補充のための若干名の募集に限られます。遅くとも11月中には一定の進路の方向性を決めてそれに合わせた準備をすることが良い結果を得るベストな方法です。

注意その2
「目先の忙しい」時間がないにとらわれ過ぎ？
就職活動とはやるべきとき、やるべきことへ取り組むもの、やるべきことがみえてきます。

大学後期は、授業、部活動サークル、アルバイトの諸活動の他に大学祭をはじめとした行事も予定されていて、多くの学生がこれらの行事の企画・運営に携わり活躍しています。しかし、一方で熱中しすぎるあまり、中期的に取り組まなければならない就職活動の準備(対策講座の参加・個人学習)が疎かになる学生がいることも確かです。そこで、何が大事かを見極めて優先順位をつけ、活動の準備を十分に組み込んだ効率的な時間管理をして、1日1日を大事に過ごすことが就職活動の結果につながることに肝に銘じておきたいものです。

注意その3
「できない」「やれない」ではなく「してない」「やってない」？
就職は自分でつかむ人生切符！

例年、大学開催のガイダンス、各種講座終了後「なにをすればよいのかよくわからない」という学生を見受けますが、おそらく全くわからないのではなく、まだ真剣に向き合っていないのが現状ではないでしょうか。就職活動にむけてやるべきことは数多くあるのではなく、以下の3つに集約されます。①自分がどのようなタイプの人間でなにをして働いていきたいかを考えるいわゆる「自己分析」。同時に、②どのような会社があるのか、自分はどういうような仕事に就きたいかについて考える「企業・職業研究」。この①と②をひとつのセットと考えて自分と企業(仕事)がマッチする点を検討します。そして、入社に必要な筆記試験の能力アップと面接試験で

必要となる効果的な自己アピールの検討です。難しく考えず、自分の将来と真剣に向き合って考えれば、おのずとやるべきことがみえてきます。

特に公務員希望者にむけて

注意その4
「流されない」
人は人、自分は自分、やるべきことは筆記対策！

本学では、3年後期から就職の対策講座などが多数開催されるため、にわかに周囲が慌ただしくなり、本来するべき筆記試験対策の学習に集中できなくなる学生もいます。今この時期にすべきことは、筆記テストの通過点数をクリアするための学習です。ライバルは、他の有名大学の学部生、大学院生、公務員再受験者です。特に、現在の合格状況を見ると、再受験者の比率が合格者の半数を超えるケースも少なくありません。つまり、現役の大学生は、1日朝から寝るまで公務員の勉強をしている再受験者を上回る成績をとる必要があります。マークシートであっても勉強せずに偶然受かるということはありません。だからこそ、今の時期にしっかりと勉強に集中して基礎を固め1点でも多くの点数をアップさせることに注力することで来夏の結果につながっていきます。また、公務員(公務)は、社会の動向に大きく影響を受けまますので、新聞の政治・社会欄等で情報収集することも大変重要です。

注意その5
しかし、民間企業等へ方向転換をするなら今！
これまでの学習成果から客観的な判断を！

これまでは公務員試験の模擬試験

参考① 2013年度民間企業の採用スケジュール (九州・沖縄エリア限定)

- Step1 【Webエントリー企業のエントリー受付開始】12月順次開始(12月ピーク)
- Step2 【合同企業説明会、各企業別説明会開始】12月開始(2・3月ピーク)
- Step3 【選考試験開始】1月開始(4月ピーク)
- Step4 【内定通知】3月中旬開始(4月下旬、5月下旬ピーク)

参考② 2013年度公務員試験のスケジュール (国家I種(国II)・地方上級(地上)・福岡警)

※上記以外の国家公務員、地方中級試験等は下記の日程とは異なります。福岡警の場合は、年2回の実施です。

- Step1 【受験申込】(国II・地上:4月)、(福岡警:4・8月)
- Step2 【1次試験】(国II・地上:6月)、(福岡警:5月・9月)
- Step3 【2次試験】(国II・地上:7月)、(福岡警:6月～11月～)
- Step4 【最終合格発表】国II・地上:8月、(福岡警:8月・12月)

結果を可否の目安にしていますが、これからは直近で受験した試験結果をふまえて客観的に今後の方向性を決める時期です。一層の対策を講じても今後結果が伸びることが難しく、かつ卒業後プランなく就職しなければならぬ人(卒業後再受験不可能な人)は、民間企業へのシフトも選択肢のひとつです。特に、昨今の政策の転換で、国家公務員採用は4割減(平成21年度比較)が公表されており、地方公務員の受験状況に大きく影響しています。仮に、4年次の10～12月頃試験を実施する地方自治体を受験して不採用の結果になった場合、卒業までの期間は3ヶ月足らずであり、募集している企業もごくわずかです。したがって現時点で自己の能力を客観的に評価して、筆記試験をクリアすることが困難であると判断した場合、民間企業の準備に間に合う今の時期に方向転換を決断することをお勧めします。

就職関係学内スケジュール(10月～3月)

◎就職支援講座(4年生でも受講可能です)

- 10月～12月 自己分析講座
- 12月～3月 履歴書・エントリーシート書き方講座、業界・会社見つけ方講座、メイクアップ講座
- 1月～3月 模擬面接 模擬グループディスカッション講座
- 外部専門カウンセラーによる書類添削・模擬面接

◎就職支援行事

- 10月24日 学内合同会社説明会(4年生対象)
- 11月18日 第4回就職ガイダンス(3年生対象)
- 1月31日 学内合同会社説明会(120社予定)(3年生対象)
- 2月初旬 就職合宿(希望者 1泊2日×4グループ)(3年生対象)

保護者のための就職説明会を開催

6月16日、御井キャンパスにおいて、保護者のための就職説明会を開催しました。あいにくの雨天にもかかわらず、450名を超える保護者の方々にご参加いただきました。この場を借りて、ご参加いただいた方々にお礼申し上げます。

説明会を開催した趣旨は二つあります。一つは、お子様の就職に不安を感じておられる保護者の方々への情報提供です。就職戦線は相変わらず厳しく、苦戦している学生の話がマスコミなどでも頻りに取り上げられておりまして、単に就職戦線が厳しいというだけではなく、昔とは就職試験の方法なども大きく変わっていますので、状況がよくわからないが故に不安に思っておられる方も多いだろうと考えたわけです。

もう一つは、お子様との接し方を考えていただくための情報提供です。就職活動は、学生にとって長く厳しい試験です。これ乗り越えることで学生は大きく成長するわけですが、一人だけの力で乗り切れることは困難なので、周囲のサポートが欠かせません。私も就職部といたしましては、精一杯の支援を心掛けておりますが、保護者の方がお子様を温かく見守って適切な手助けをしてくださることが、なによりのサポートです。つきましては、保護者の皆様、就職戦線の状況を正しく認識していただいた上でお子様と接していただきたいと考え、ご説明の機会を設けたというわけです。

当日は、はじめに私が挨拶した後、私が学生に話している事を紹介しま

した。内容は以下のとおりです。

●4年生向け

卒業と同時に就職できるか否かで、一生の間にもらえる給料が何千万円も違うのだから、何としても卒業までに就職を決めなさい。

何十社も受けて1社か2社受かるのが普通なのだから、5社や10社落ちたくらいで落ち込まず、とにかく多数受けなさい。

●1～3年生向け

学習面では3年生までにはできるだけ多くの単位をとり、ある程度の貯金をしておくこと。4年生になってからは、できるだけ講義、アルバイトの負担を減らして就職活動に取り組むべき。

充実した大学生活を送ること。就職面接で「大学時代は特になにもせず、ぼんやり過ごしていました」などと答えると大きなマイナスになる。

続いて、就職・キャリア支援課(江上課長補佐)から、以下のようなお話をいたしました。紙幅の許す範囲で要点をご紹介します。

●最近の就職活動について説明した。応募は主にインターネットで行う、エントリーシートや選考方法は多種多様である、等々。ちなみにエントリーシートとは、自己PR、学生時代ががんばったこと、志望動機、入社してからやりたい事などを記入する用紙のことで、企業により様式はさまざまである。

●学生時代にがんばった事について説明。学生の記入の多くが部活動、アルバイト、資格取得などであることを

紹介した。加えて、在学中にこうした活動をしていないと、エントリーシートを記入する際に困ることを説明した。

●最近の企業の選考方法について概要を説明した。筆記試験、グループ・ディスカッション、数次にわたる面接などを行い、時間をかけて学生をじっくり選ぶ企業が多い。面接の内容なども多種多様である。

●就職戦線の状況について説明した。求人数は求職者数を上回っているが、一部の人気企業に応募が集中している(インターネットでの応募のため、驚くほどの倍率になる企業も多い)。これが就職活動を難しいものになっている(入りたい会社と入れる会社のミスマッチ)。

●久留米大学の今年3月の卒業生に関する就職率の実績を紹介した。就職希望者のうち就職できたのは90.8%、卒業生のうち就職したのは69.3%であった。久留米大学は、以前から近隣の大学の中で相対的に高い就職率を維持しており、今年3月の卒業生についても同様であった。

●お子様の内定がなかなか決まらなくても、温かく見守ってあげていただきたい、とお願いした。その理由として、昨今の就職活動が長期戦であることを説明した。就職活動は3年生の秋から本格化するが、久留米大学の昨年度の実績を見ると、4年生の秋段階での内定率は半分以下である。

●お子様が内定をもらったら、それを尊重してあげていただきたいとお願いした。「大学まで出したのに、そんな会社か?」と思われるかもしれないが、

アルバイト先としては簡単に働けても正社員になるのは非常に難しい、という企業は多い。また、保護者の時代と異なり、今は大学生の数が多く、大卒から一流企業、というわけではない。

●就職部が行っている具体的な支援について説明した。就職合宿、就職ガイダンス、各種セミナー、合同企業説明会、等々の行事、日常的な学生面談や求人情報の提供などについて、写真などを示しながら紹介した。

●最後に、お子様が就職・キャリア支援課を訪れるように、保護者の皆様からも促していただきたいとお願いした。

以上が当日ご説明した内容の概要です。限られた時間の中で、不十分な部分や至らない点も多くありましたが、保護者の皆様には大変熱心に聴いていただきましたので、何らかのお役に立てたのではないかと思っております。

なお、就職部におきましては、説明会に限らず、秋に各地で開催されます地方懇談会の際にも就職関係のお話をさせていただきます。ほか、大学案内などを通じて、今後とも保護者の方々に対する情報のご提供を積極的に行ってまいります。加えて、保護者の方々からのご質問、ご相談、面談のご要望などにも積極的に対応させていただきますので、今後とも、私どもの就職支援活動にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

(就職部長 塚崎公義)



久留米大学就職・キャリア支援課
〒839-8502 福岡県久留米市御井町1635
TEL 0942-44-6413 FAX 0942-44-6419
HP <http://www.mii.kurume-u.ac.jp/jobnavi/syusyokshien.html>